

平成28年3月23日

各位

会社名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 磯村 明彦
(JASDAQコード9973)
問合せ先 取締役財務経理部長 片野 裕之
(電話番号 03-6226-4400)

「ライツ・オファリング」により調達した資金の用途の変更について

当社は、平成26年5月26日付「ライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）による当社第3回新株予約権の権利行使結果（確定）に関するお知らせ」にて公表した通り、1,500百万円の資金を調達し、平成26年12月19日付「「ライツ・オファリング」により調達した資金の残金の用途について」及び、平成27年3月17日付「「ライツ・オファリング」により調達した資金の残金の用途について」の開示において、「ライツ・オファリングにより調達した資金（以下：ライツ調達資金）」の全ての用途についてお知らせ致しましたが、公表したライツ調達資金の用途の一部について変更させて頂きましたので、お知らせ致します。

1. 変更となるライツ調達資金の用途について

① 不採算店舗の閉鎖にかかる超過費用への充当

当社は、平成26年12月19日付「「ライツ・オファリング」により調達した資金の残金の用途について」にてお知らせしたライツ調達資金の用途（以下：平成26年12月19日公表の資金用途）において、不採算店舗となっている店舗の中から、恒常的に不採算となっており、かつ、収益性が改善されない見通しである60店舗の閉鎖費用として、平成27年7月迄に85百万円を充当する事としておりました。しかしながら、店舗の閉鎖を推進する中で閉鎖店舗数が予定数を超過し、実際の閉鎖店舗数は98店舗に及んだため、店舗の閉鎖費用の総額は当初予定の85百万円を超過し、平成28年3月迄の総額で、154百万円となりましたので、超過費用である69百万円を、新たに不採算店舗の閉鎖費用として充当させて頂きました。

当該閉鎖費用である154百万円については、平成27年12月迄において支出済の費用となりますが、当該閉鎖費用の資金用途の変更について、ご報告が遅くなりましたこと、株主の皆様をはじめ、関係者様各位にご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

② 借入金の返済費用

平成 26 年 10 月 31 日「運転資金の借入について」で開示のとおり、有限会社佐藤総合企画より、事業運転資金の借入を目的として、400 百万円の借入を行っております。

平成 26 年 12 月 19 日付公表の資金使途において、当該借入金の返済時期は、平成 28 年 4 月末に 100 百万円、平成 28 年 10 月末に 100 百万円となっておりますが、借入金にかかる利息（借入金利 6%）を圧縮する事を目的として、ライツ調達資金の一部を借入金の残金（経過利息を含む）216 百万円の繰り上げ返済に充当させて頂きます。なお、当該借入金 216 百万円の返済予定時期は、2016 年 3 月を予定しております。

③ ラーメン店「麺や小僧」への業態転換費用

平成 26 年 12 月 19 日公表の資金使途において、ラーメン店「麺や小僧」50 店舗の業態転換による出店費用として 500 百万円を充当することとしておりました。しかしながら、新規開発した「麺や小僧」において、店舗当たりの売上高及び収益性が想定を下回るものであったため、「麺や小僧」ブランドによる出店展開を変更し、味・商品構成など、新たなコンセプトのラーメン店「麺屋黒琥」ブランドによる出店を進め、現時点において、直営店として 7 店舗を出店しております。

当社は、「麺屋黒琥」の出店により、当初予定であった 50 店舗の出店展開を継続し、順次出店を行う予定でありました。しかしながら、「麺屋黒琥」のブランド転換によって店舗当たりの売上高及び収益性は改善されたものの、依然として当初想定を下回る状況であったため、「麺屋黒琥」による出店展開を見合わせました。その結果、当初想定の出店数を下回る出店数となったため、出店費用の総額は 71 百万円に留まっております。

当社は、当初想定費用との差額 429 百万円のうち、①不採算店舗の閉鎖にかかる超過費用 69 百万円、②借入金の返済費用 216 百万円に充当させて頂き、未支出の費用である 144 百万円の使途、及び、ラーメン店の新規出店計画の実施の方針については、別途公表させて頂く予定でございます。

2. 現在のライツ調達資金の支出状況について

「1. 変更となるライツ調達資金の使途について」において記載した、ライツ調達資金の使途の変更を踏まえ、現在のライツ調達資金の支出状況について、記載致します。

(ライツ調達資金の支出状況について)

	具体的な使途	資金使途変更 前の支出予定 金額	支出金額	支出時期
1	発行諸費用	83 百万円	83 百万円	平成 26 年 7 月
2	商材取引に対する前払金 及び保証金	117 百万円	117 百万円	平成 26 年 7 月
3	新規出店	28 百万円	28 百万円	平成 26 年 7 月～9 月
4	既存店舗の閉鎖にかかる費用	5 百万円	5 百万円	平成 26 年 7 月～9 月
5	各月の経費支払にかかる費用	419 百万円	419 百万円	平成 26 年 6 月～9 月
6	不採算店舗の撤退費用	85 百万円	154 百万円	※ 平成 27 年 7 月迄に支出する予定でしたが、閉鎖店舗数が想定を超過したため、平成 27 年 12 月迄に、店舗閉鎖費用 69 百万円を追加で支出致しました。これに伴い、当該店舗閉鎖費用 69 百万円を、新たにライツ調達資金から充当しております。
7	「麺や小僧」の業態転換費用	500 百万円	71 百万円	平成 27 年 6 月迄 ※ 資金使途の変更に伴い、 差額 429 百万円は未支出 となっております
8	新業態「ステーキ店」の 出店費用	54 百万円	—	平成 27 年 6 月迄に支出する 予定でしたが、現時 点において未支出となっ ております。
9	新規開発「ラーメン店」の出 店費用	51 百万円	—	平成 27 年 6 月迄に支出する 予定でしたが、現時 点において未支出となっ ております。
10	業務統合新システムの 導入費用	158 百万円	27 百万円	平成 27 年 8 月迄に支出する 予定でしたが、現時 点において、27 百万円の支出 に留まっております。
11	借入金の返済費用	—	216 百万円	平成 28 年 3 月
	1～11 の総額	1, 500 百万円	1, 120 百万円	

「1. 変更となるライツ調達資金の使途について」にて記載のとおり、ライツ調達資金のうち、144百万円が未支出となっております。また、上記記載のとおり、8. 新業態「ステーキ店」の出店費用として想定していた費用54百万円、9. 新規開発「ラーメン店」の出店費用として想定していた費用51百万円につきましては、当該計画の推進にあたり、ノウハウを有する企業とコンサルティング契約を締結し、十分なサポート体制を構築した上で新規出店を行う予定でございました。しかしながら、当該コンサルティング契約は締結に至らなかったため、当該計画の推進を見合わせております。そのため、8. 新業態「ステーキ店」の出店及び、9. 新規開発「ラーメン店」の出店費用として充当していた費用については、現時点において、未支出となっております。

また、業務統合新システムの導入費用として158百万円を充当することとしておりますが、実施の遅れに伴い、本日迄に、導入費用の一部である27百万円の支出に留まっております。

なお、上記記載した、未支出となっている380百万円の資金使途の実施の方針につきましては、別途公表させて頂く予定でございます

3. 未支出のライツ調達資金の使途の公表について

平成28年2月24日付「代表取締役の異動（社長交代）及び取締役候補者、監査役候補者の選任に関するお知らせ」にてお知らせのとおり、当社は、平成28年3月25日開催予定の第48回定時株主総会及び、その終了後開催予定の取締役会において、代表取締役社長が異動となる予定です。

また、代表取締役社長の異動に伴いまして、新たな事業方針を策定し、平成28年4月以降に公表させて頂く予定でございます。なお、公表予定の事業方針に沿い、未支出となっている380百万円のライツ調達資金の使途の支出予定について、合わせて公表する予定でございます。

以 上